

発行所  
石川県保険医協会  
金沢市尾張町1丁目9番11号  
〒920 尾張町レジデンス2F  
電話 (0762) 22-5373番  
発行人 後藤田博之  
印刷所 ユーアイ印刷  
(会費月額 3,800円)

# 石川保険医新聞

募集中  
保険医年金

締切; 10月25日

お申し込みはお早目に!!

—過去最高—

(医科会員439人中201人から回答)

## 45.8%の回収率

### 審査アンケートの集計まとまる

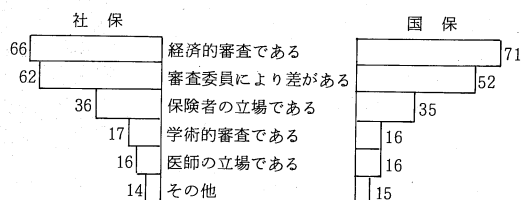
審査問題アンケートにご回答いただきありがとうございます。集計結果をさらに詳しく、「審査問題特集号」(発行予定)にてお知らせします。

四人に一人が  
審査委員の「差」を指摘

このほど審査問題アンケート調査の集計がまとまりました。医科会員四百三十九人に調査用紙を発送したところ、回答数二百一で、かつてない四五・八%という高い回収率となった。この場を借りてご協力していただいた先生方に感謝の意を表したい。

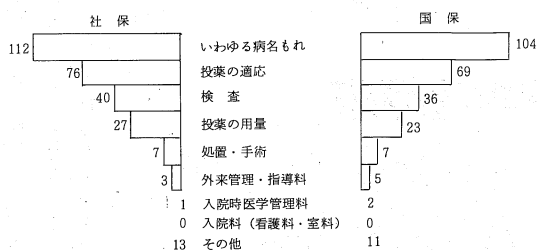
アンケートの詳しい集計は、保険医新聞で改めて「審査問題特集号」を組む会員にお知らせすることになっていたので、ここでは大体の傾向をお知らせする。まず、アンケートでみられた全般的な傾向として、審査に関する限り、社保と国保で差がほとんどなかったことがあげられる。これ

《表①》  
◇この一年間の審査の感想は？



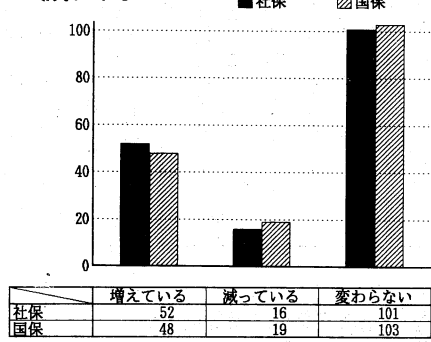
《表②》

◇この一年間での診療内容上の返戻のうち、多い項目は？



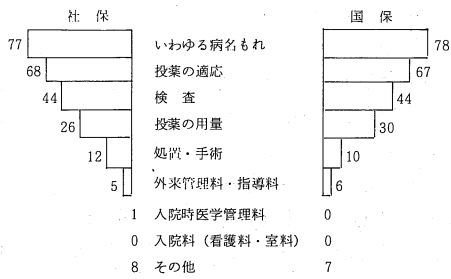
《表③》

◇この一年間の減点(査定)の増減傾向は？



《表④》

◇この一年間での診療内容上の減点(査定)で多い項目は？



返戻の内容では、いわゆる病名もれと投薬の適応が大半を占めている(表②)。これは保険者が薬剤の適応

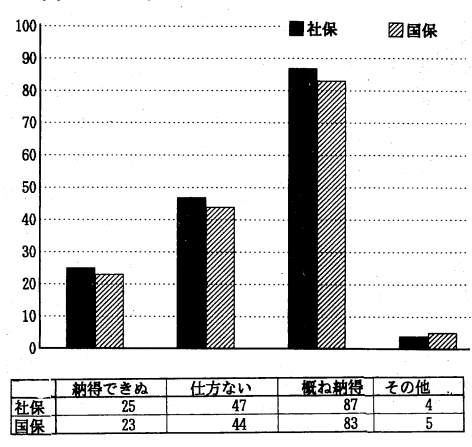
返戻の内容では、いわゆる病名もれと投薬の適応が大半を占めている(表②)。これは保険者が薬剤の適応

返戻の内容では、いわゆる病名もれと投薬の適応が大半を占めている(表②)。これは保険者が薬剤の適応

### 不当な減点には必ず再審査請求を

表③は、この一年間の減点(査定)の増減傾向を回答してもらったものである。増えているという回答が返戻とほぼ同数の五十二(会員の四人に一人以上)もあり、年々審査の厳しさが増していると言えよう。

《表⑤》  
◇この一年間での減点(査定)の内容は納得できるものですか？



不当な減点(査定)に対しては、我々が断固再審査請求をすべきであろうか(表⑤)。再審査請求をしたこ

今、初秋の夜空に星座が美しい。去る八月二十五日、惑星探査機「ボイジャー2号」が十二年間の長旅の後、ついに太陽系八番目の惑星である海王星に最接近した。地球から何と四十四億kmの彼方である。惑星表面のデータは、ボイジャー2号のカメラから送られてきた。信じ難いほどの人類の「英知」である。ボイジャー2号は、その原子力推進装置と地上からのコンピューター制御によって、これから何十年も飛行可能だが、わずか二十Wの発信電力が距離とともに減衰し続けるため、地球への情報伝達は困難になるといわれる。新しい惑星も発見できるかも知れないのに残念に思う。

全天で最も輝く星・シリウス恒星や、我らの銀河系に一番近く地球から百九十万光年にある隣の宇宙アンドロメダ星雲などへ、もしかしたらボイジャー2号は永久の旅路の果てに訪れるかも知れない。八月二十八日のNHKテレビの映像は宇宙空間の尽きないロマンを築かせてくれた。それにつけても思う。我が太陽が二十億年も続いている光熱エネルギー放出の原理は、水素爆弾の原理と同じ原子核融合反応だ。鶴の真似をする鳥は大水を呑む。のたとえがある。全人類が一握りの「英知」に破滅させられる悲劇のないように祈るのみである。

### 医心凡語

今、初秋の夜空に星座が美しい。去る八月二十五日、惑星探査機「ボイジャー2号」が十二年間の長旅の後、ついに太陽系八番目の惑星である海王星に最接近した。地球から何と四十四億kmの彼方である。惑星表面のデータは、ボイジャー2号のカメラから送られてきた。信じ難いほどの人類の「英知」である。ボイジャー2号は、その原子力推進装置と地上からのコンピューター制御によって、これから何十年も飛行可能だが、わずか二十Wの発信電力が距離とともに減衰し続けるため、地球への情報伝達は困難になるといわれる。新しい惑星も発見できるかも知れないのに残念に思う。

# 官利中心の医療へ

## 厚生省の90年代のねらい

厚生省は、一九九〇年にむけて公的医療保険制度の解体、医療供給体制の縮小再編成、「民活」導入による医療営利化を新たな段階に押し進めようとしている。

これまでの経過をみますと、まず、老人医療の有料化（八三年二月）、健保本人一割負担（八四年十月）、国保の国庫補助引き下げ（八四年十月）などの改悪を行ってきました。

第二段階として、現在進められているのが、厚生省の「中間報告」（八七年六月）に基づく諸改悪です。八六年から国立病院の統廃

八月一日（火）、午後七時半より、本年度第五回理事会在開かれた。

前半の報告事項は、山積する七部二十七件の問題をスムーズに消化し、後半の協議事項に入る。

国民医療を守る共同行動の推進にちなみ、今回は認定医制度の導入に関する活発な意見が交わされた。その要点は「医学医療の専門分化は、時代の流れであるが、全人的医療が要求されるのも時代の流れである。それには医師の専門性が自主的であり、ほかの干渉を受けなければならない。そこで今回の専門医制度の法制化

は、医療を受ける国民・患者の権利が著しく制限されるのみならず、医師の権利も出てくる。

マイナス面も出てくる。今後、医療費削減、福祉後退の流れの中で、政府・厚生省の意図をよく見極めた上で、この専門医、認定医の制度化問題が官僚統制につながらぬよう望むものである」ということで、ちょうど十時になり、本日の理事会は終了したのであった。

実際、日夜の診療で一杯の我々だが、ままたらぬ世に医学のみを研鑽するのではなく、他方面にも目を向けてゆかねばとしみじみ思ったものである。

### 理事会点描

#### 専門医制度について 活発な意見交換

8月1日 第5回理事会  
15人出席

これらの施策の行き着く先は何があるのでしょうか。厚生省は「医療関連ビジネス検討会」につづき、「シルバースービス振興会」を大資本を中心に発足させました。年間十兆円といわれる医療「産業」「民間営利資本を全面的に参画させるねらいであることは明らかです。すでに多くの病院

（公的病院でも）で給食を初め全ての部門に外注委託が進められています。また、国保や健保など公的保険制度の改悪の一方で、民間保険の参入が顕著になり、

介護サービスまで触手を広げてきました。

人間のいのちも健康もカネ次第という官利中心の医療への大転換です。厚生省の狙いはそこにあります。

（中田記）

## 持論

ここ一年間に新設された認定医制度が六学会、専門医（認定医）数が一九八七年一月の三万三千人から一九八九年一月で七万五千人と二年間に倍加する勢いである。

このラッシュのきっかけは、厚生省と日医の「診療科名等の表示に関する検討会」報告書の発表であろう。内容は診療科名をこれまでどおり自由に標榜できるものと、専門医の認定のもとに標榜できるものに分けるといふものである。

その理由は「多様化している世に出てくる若い医師群は、当

医療に関して、正確な情報を国民が要求しているから」とのことだが、これは疑わしい。厚生省の真のねらいは、医療費抑制という大前提のもとに、専門医制導入による、医師層のランク

然、より有利な専門医の資格をめぐって激しい競争を行うことは、欧米の例をみても明らかである。また、医療費抑制策からも、医療費を押し上げる要因となる「専門医を多数養成する」

となると、制度発足当初は門戸を開放して、多数の専門医、認定医を認めても、更新という「ふるい落とし」が行われ、結果としての家庭医ができてくるのではないだろうか。

### 医師のランク付けなどもくろむ 専門医の法制化

付け（専門医、一般医、家庭医、非保険医）、安あがりの家庭医の導入、官僚統制の強化、患者負担の増大にあるようだ。

専門医制になれば、これから世に出てくる若い医師群は、当

ことは、厚生省にとっても得策ではないからだ。そうすると、資格試験、更新試験は極めて厳しいものとなり、脱落していく中に、古参の開業医が多く含まれる恐れが多分にある。

厚生省と学会認定医制度協議会は、来年の医療法第二次改定で「専門医の法制化」を図ろうとしている。武見会長時代、日医は「官僚が統制する専門医制度の創設に反対する」旨の代議員決議を行っているが、今、まさに反古（ほご）になろうとしている。専門医（認定医）の資格は学会の自主性に任されるべきである。

## 1989年度 県下8会場でのスタッフ講習会

### テーマ 患者福祉学入門

—よりよき相談相手となるために—

講師 映寿会病院医療福祉相談室 MSW 鈴木森夫氏

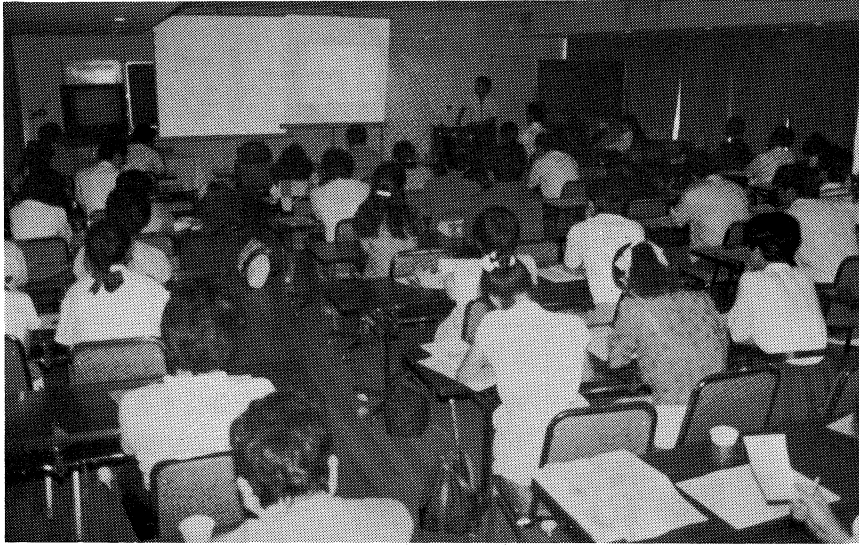
開催地 金沢、加賀、小松、松任、輪島、能都、七尾、羽咋の8会場

日時・場所 上記各地域において、10月～11月中の開催予定。日時・会場については、9月中旬に案内チラシにてお知らせします。

主催 石川県保険医協会

#### 講習会内容

- はじめに
  - 「接遇」ということば
  - 私の仕事 相談室
  - 「理解」と「説得」
  - 話しやすい相手と話しにくい相手
  - 「相談」というコミュニケーション
- 話しやすい相手・話しにくい相手
  - 聞き上手になるには（受容的技法）
  - 「話にならない」応じ方（陥りやすい五つの誘惑）
  - 演習「言うことをきいてもらうには」（入院時のオリエンテーションで院内禁煙を言うとき）
- 医療・福祉制度活用の実際
  - ケースワーカーとカウンセラー
  - これだけは知っておきたい五つのポイント
    - 健康保険と資格喪失
    - 傷病手当と障害年金
    - 身体障害者手帳
    - 在宅福祉サービス
    - 福祉施設の利用
  - 「福祉マップ」の上手な利用法



全国から64人の歯科医およびスタッフが参加  
'89年輕井沢サマーセミナー

セミナーの全体的な印象としては、テーマを「老人と歯科医療」の一本に絞り込んだことにより、論議の方向性と深みが生じ、より問題点を明確化でき、成功であったと思われる。私なりに、八月二十日の六時間の内容をまとめて、会員の皆さんに報告させていただきます。

まずは、桑本泉氏の水島歯科診療所の経験からの報告。治療を受けたという老人がいても、起きられない、クルマがない、タクシー代が続かない、家族の協力が難しい、などで、自力で外来に出掛けられない場合が多い。歯科医療の前に社会の縮図として老人医療の周辺に種々の問題が存在していることを忘れてはならない。一般的に、入院可

能なら、入院治療の方が良い治療ができるのだが、そのうちいかず、往診体制を歯科医一人、衛生士一人、事務一人の三人で一週間に一日、四時間ひいている。往診車、ユニット、XIP装置、往診ボックスと設備はあるが、よりキチンとした治療を追求すると、設備がどんどん増え、持ち運びだけでも重労働になる。

「一体、歯科における往診の充実とは何なのか？」とジレンマに陥る。これに対しては、群馬県庁の小泉信雄氏が明解な答えを出したと思う。寝たきり老人の在宅治療は、地域全体として捕えるなら、効率が悪く、病院歯科の設備を充実し、搬送体制を強化する方がよい。たまたま、現時点では往診治療の方がマ

神谷氏も言うように、逆に、寝たきりにしなければ歯科往診の問題は生じないのであるから、原疾患の予防が一番大切なのである。これもあまりに真実すぎるくらい真実であろう。そして、社会の問題、家族の問題の中に老人を含めて考えなければ問題解決にならない。老人問題における「歯科」は、ごく小さいものであるという認識も必要であ

ろう。私が一ヶ月ほど前に某新聞の社説で読んで感銘を受けたことと一致する。それは、「ヨーロッパなどでは「寝たきり老人」という言葉はないという。なぜなら、寝たきりにするのは社会そのものが悪い、つまりホームヘルパーなどの人材が不備ということ、自分たちが寝たきり状態にさせるように仕向けて、寝たきり老人などと呼ぶのは失礼

# おいしく食べたいをテーマに 在宅歯科医療第2弾

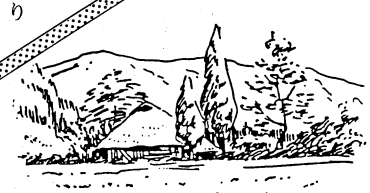
## 軽井沢サマー・セミナー開かれる

石川から2人参加

### 参加報告

八月十九日(土)、二十日(日)の両日、長野県保険医協会の主催で昨年に引き続き、第二回目の「軽井沢サマー・セミナー」が開かれました。テーマは「おいしく食べたい——在宅歯科医療第二弾」。

会場は、ホテル・メゾン軽井沢。木立に囲まれた落ち着いたたたずまいの中で開かれたこのセミナーには、全国から六十四人が出席しました。初日は午後六時半から、「厚生省の九十年「改革」と歯科医療」および「経営から見た在宅歯科医療」の二つのテーマの講演会が開かれました。午後七時半からは、翌日開催のセミナーの講師も交えて懇親会が開かれ、参加者一同は、打ち解けた雰囲気の中で二日目のセミナーに臨みました。二日目は午前九時から、「私の往診臨床」として、在宅歯科に積極的に取り組んでいる四人の歯科医師と、それに同行したアシスタントとのペアでの失敗症例も含めた報告が行われました。正午からは総括講演として「ライフサイクルから咀嚼を考える」をテーマに絵本「おいしく食べたい」の著者でもある岡山大学歯科部の岡崎好秀先生の講演が行われました。



### 歯科治療は寝たきりになる前に

スコミ受けが良く、人気があるだけで、全体の位置づけは、往診歯科診療は応急処置と考えるべきであろう。この意見には、数年来のモヤモヤがスーッと消えるかと思われた私であった。また、同じ水島診療所の事務局員のお話では、在宅寝たきり老人の実態調査をしてみると、六十〜七十歳

であるというのである。早く日本もそうなって欲しい。私も、あなたも必ず、近い将来は老人なのだから。そして、何が今できるかを考えて、行動しようではないか。会場のムードは、そんな感じで盛り上がった。

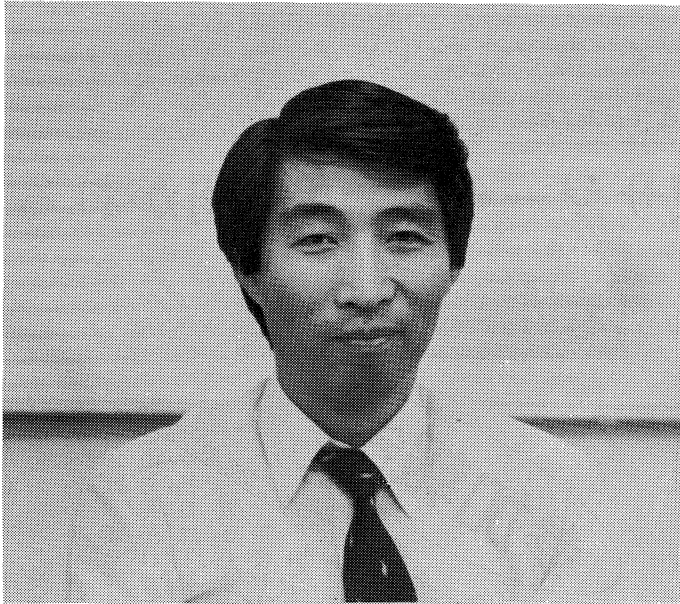
### 痴呆の予防は「おいしく食べる」

最後に、岡山大学の岡崎好秀氏(絵本「おいしく食べたい」の著者)の、ライフサイクルから咀嚼を考える。一体、噛むということは脳血流量が低下することで痴呆も生じるし、逆に若い者は、噛むことで頭が良く

●お願い●

院内新聞をお送り下さい

石川県保険医協会では、共同編集による院内新聞の発行を計画しています。すでに院内新聞を発行している医療機関がありましたら、お送りいただければ幸いです。



# 協会顧問税理士に 中村栄希氏を委嘱

保険医協会では、会員の先生方からの日常的な経営・税務相談活動を強化するため、これまで青色申告対策講習会などの講師を務めていただいた中村栄希氏に協会顧問税理士を委嘱しました。

今後、先生方からの経営・税務に関する質問、相談などお気軽に協会事務局までご連絡ください。協会事務局では相談事項を整理して中村税理士に伝達し、回答要旨をまとめて相談者にお知らせしたいと考えております。

なお、複雑な問題については直接、中村税理士にお問合せしていただくことも考えております。

## 経営・税務について お気軽にご相談下さい

保険医協会  
顧問税理士  
中村 栄希

今の時代は、あらゆる企業にとってそれを取り巻く環境の変化が加速度的になりつつあるという点で、その対応が大きな

問題となっています。医療の世界においても、来年度にも行われると予想される医療法の第二次改正で、病院機能の類型

### 〔中村栄希税理士のプロフィール〕

生年月日 1948年1月10日、41歳  
経 歴 1978年2月に税理士登録、実父の経営する株式会社中村会計に勤務し、1984年に(株)日本LCAグループに入会。  
会社設立 1985年に株式会社ジー・エム・シーを設立、代表取締役役に就任。現在に至る。  
所在地 金沢市尾張町1丁目9番31号 (〒920)  
T E L 0762-22-5343

化を行おうとの動きがあり、また、税制面では医師の社会保険診療報酬課税の特例について、本年分から課税の強化(その年の社会保険診療報酬が五千万円を超える者については、概算経費率による所得計算の特例が適用されない)が図られるなど、大きな環境変化が起きています。そして今度の参院選の結果は、消費税の扱いとの関連でさらにその変化に拍車がかかけられそうな気配です。

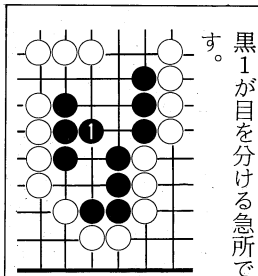
このように病医院を取り巻くさまざまな環境の変化に対して、自院にとっての正しい対応を日々迫られ、しかもそれらは毎日の診療という本来の業務以外の時間で、ということになれば、それはもう大変な負担というしかないでしょう。そのための種々のバックアップ体制をとって

## 耳鼻科の医療器具を お譲りします

このたび耳鼻咽喉科医院を廃業された先生から耳鼻科医がよく使う器具を譲りうけました。当会にて保管していますので、希望される方はご一報ください。

☎0762-221-5373

### 囲碁解答



黒1が目をつける急所です。



12人の医師、奥様が参加  
8月29日 ホットハウス

### 食べ歩き会

インド料理

### ホットハウス

## タンドリーチキンの味

安藤 良一 (金沢市・内科)

ホットハウスから、八月二十九日のホットなニュース。協会の「食べ歩き会」報告は、インド料理のこの店からです。金沢は、ど真中の池田町三番丁。いかにもそれらしいエキゾチックな小じんまりした店内で、この会に常連の医師八人、奥様四人がテーブルを囲みます。

のっけから舌がピリッとしびれるパッパル(せんべい)をビールで中和しながら見回せば、幽玄調のBGMと特有のスパイスの香りが漂う中に、伝統的楽器や壁飾りやパリの彫像が……。目の前のガラス越しには髪をたくわえたインド人のコックさんが、タンドール(つぼ型の炉)でナンやチキンを次々に焼いているのが眺められて、お客を全くその気にしてしま

う雰囲気です。さて、出てきました大皿。タンドリーチキンのチキンとプローン(えび)に、ボチカバープ(マトン骨付き)が山盛りです。いきなり本番の感じですが、皆さんまだ空腹だからお喋りもそこそこ平らげ乙な味のダール(豆)スープで一息入れていますと、店長の五十嵐さんがディナーメニューを配られて、まだコース半ばだとおっしゃる。えっ！なるほど、ペンジ・チャナカレー、シャヒ・パニールカレー、アル・ゴピカレ、チキン・ムスラムカレーの四種に、ナン、チャパティのパン類が主食で、ビリヤニライスまでついています。

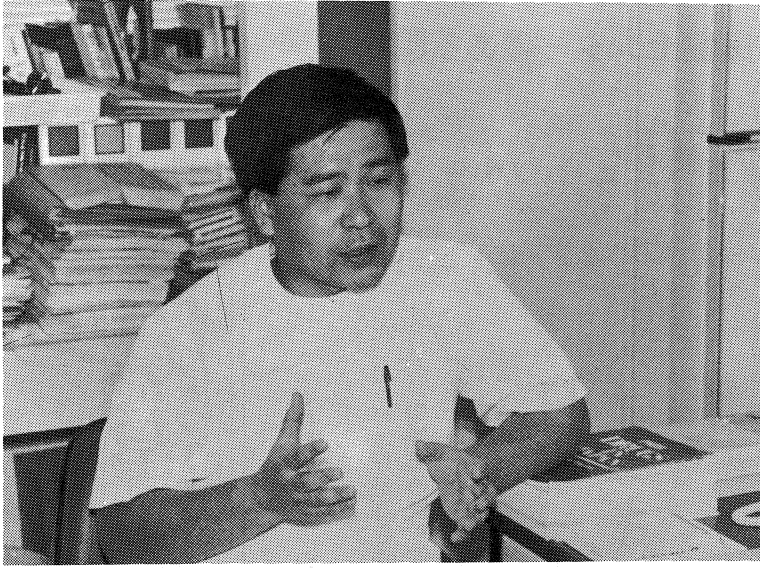
ビールやワインをゴクゴク飲むんじゃないかと後悔もあとの祭。それでも自称食い道楽の面々、たくましく食べるわ喋るわの約三時間。

ライタ(生野菜ヨーグルトあえ)、ラシヨグッラ(シロップ菓子)マサラティーで打ち上げとなったところは、もう堪能し切っていました。

この間、料理の解説などサーブスこれ努めてくれた五十嵐さんにも深謝しながら、コックさんの合掌のご挨拶に伝えて、お開きとなりました。

(安藤)





開業すると精神的な苦勞がふえます……と吉光先生

# 訪ねます

(49)

## 吉光康平 先生の巻

吉光内科医院院長  
石川郡野々市町田尻町2

今回は県内でも特に医療過密地域と言われる野々市町で開業されている吉光康平先生にご登場頂きました。

### ゆとり、親切、丁寧を モットーに

—先生が開業されたのはいつですか？

八十六年の九月です。ちようど三年になります。

—略歴と開業の動機をお聞かせ下さい。

七十四年に金沢大学医学部を卒業後、六年ほど第二内科にいました。そして八十年に県立中央病院に入りました。開業までいました。開業の動機ですが、内科医として、開業するか勤務医としてやっていくかという選択はいつかしなければ

入院患者もいませんから、夜中に起こされるといことがほとんどありません。ですから、かえって勤務医時代よりも今の方が力的には楽ですね。精神的には逆です。

もちろん、受け持ちの患者さんの急変にはいつでも対応できるように備えています。

—診療上でなにか工夫されていることはありますか？

特別なことはしていませんが、患者さんに対して、ゆとりをもって丁寧に診療するように心がけています。勤務医時代比べて一人の患者さんに対しての診療時間がかなり長くなりましたし、患者さんのいろんな話

を聞く余裕が出てきました。最近、患者さんの話をゆつくり聞くということが治療をする上で大変大切なことだということが分かってきました。特にお年寄りには短い時間で体の様子を医師に伝えるということが困難なようです。勤務医にとつては物理的に不可能なことです。開業医としてこれは大切にしていきたいところですね。

### 年に2回、 家族で旅行に

—今後の抱負という点ではいかがですか？

これだけ医療機関が過密になっていまして、来て下さる患者さんにはむしろ選ばれるという感じですね。それだけに親切に、しかも適切な治療をしていきたいと考えています。

## 保険医協会は 審査問題を積極的に

—保険医協会への入会の動機についてお話し下さい。

県立中央病院に勤務しているときに、医局で保険医新聞をたまに読んでいました。たし、保険医協会という団体があることは知っていました。直接のきっかけは、同じ第二内科の先輩の能登康夫先生にすすめられたからです。

—先生は保険医協会の学術・保険部で活躍ですが審査問題についてはいかがですか？

せっかくお誘い頂きながら部会へあまり出れなくてすみません。とにかくこの三年間は経営的にも時間的

にも余裕がなくて、出たくても出れないことが多かったんですよ。最近開業医生活に少しは慣れてきましたので、これからは出席させて頂こうと思っています。審査問題については、やはり保険医協会が積極的に取り組まなければいけないと思います。最近ではレポートの点検を専門家以外の人が行っているという話も聞きますし、とんでもない話だと思えます。私自身も納得のいく審査も確かにあります。なのでこんなものを削るのか、といった疑問の残る返戻もいくつかあります。自分が信念をもつ

—家族サービスはなさっていますか？

開業当時はとても余裕がなかったんですが、今年の夏は二泊の旅行をしました。これからは、家族は大切にすから年に二回程度は一、二泊の旅行をしていこうと考えています。

—お忙しいところありがとうございました。(保険医協会取材班)

## 上部消化管内視鏡検査の実技講習会

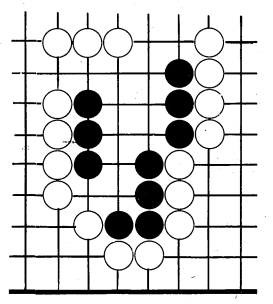
- テーマ 電子内視鏡 ～その原理と応用～
- 講師 福井医科大学助教授 郡 大裕先生
- とき 10月15日(日) 午前10時～12時30分
- ところ 金沢都ホテル 5階「能登の間」
- お申込 お電話にて保険医協会まで ☎0762 (22) 5373

☆只今、当日被検者を募集しています。この機会を先生ご自身の検診としてご利用下さい。

主催 石川県保険医協会 協賛 東芝メディカル株式会社

## 碁

出題者 向井富治 (金沢市・内科)



県医師会の碁碁大会で西田昭治三段の対局に出来ました。黒ピンチです。一手で生きて下さい。(解答4面)